

活動内容のご紹介

～ 令和4年11月12日（土）伊丹市立有岡小学校～

NPO法人あすの夢土木の出前講座に参加し、伊丹市立有岡小学校にて、高学年の小学生計12名に防災教育を行ないました。

一方は、水災害ジオラマ模型を用いて、大雨による洪水や津波が起こった際の街の様子を観察していただきました。子どもたちは興味津々で観察していました。

もう一方では、クイズを交えた防災教育を実施し、子どもたちの防災意識の向上を図りました。

また、当活動の様産経新聞に取り上げていただきました。下記のリンク先にてオンライン版の記事も閲覧できます。

【産経WEST掲載ページURL】：<https://www.sankei.com/article/20221121-RSXZLAVCTFPX5BIZ44UDRMLQ5I/>



ジオラマ模型を用いた
水害シミュレーション観察の様子



クイズを交えた防災教育の様子



N-EXPOメンバー

令和4年11月23日付
産経新聞記事

水害のメカニズム
児童ら模型で体験
兵庫・伊丹で出前講座
土木、建設業に関心を持つてもらおうと、NPO法人「あすの夢土木」（大阪市中心区）が、兵庫県伊丹市立有岡小学校で出前講座を開き、児童約40人が防災への理解を深めた。
同講座では、水害の発生メカニズムを知ってもらうため、浸水模型が使われ



浸水模型を使って水害を再現した出前講座
―兵庫伊丹市

た。模型には河川のほか、海や住宅街、地下駐車場などが設けられ、降雨散水装置を起動させると「街」はたちまち水浸しに。さらに、津波を再現させると「ワー」と声があがり、子供たちは自然災害の恐ろしさ、災害時に身を守る行

動の大切さなどを学んだ。講師を務めた建設コンサルタント「ニュージェック」（大阪市北区）の大本雄二さん（56）は「水害発生時に街がどうなるかを見てもらった。子供たちの災害に対する気づきになれば」と話した。

災害が起こった際に、少しでも被災者を減らすことが出来るよう、今後も活動を継続していきたいと考えております。